

## 学校のシンボルへ

2月4日、清和中学校で仏原にお住まいの上村正則さんより清和小学校と清和中学校へ木彫品の贈呈式が行われました。木彫品には歓迎の言葉と校名が彫られ、上部にはオオルリが羽を休めているように製作されています。上村正則さんは定年退職を機に趣味でものづくりを始められ、お地藏様や水車など様々なものを製作されてきました。清和中学校を訪れた際に清和地区の小学校と中学校の連携のシンボルとして、町鳥でもある「オオルリ」をモチーフとした木彫品の製作依頼を受け1月中旬から3週間かけて製作され、贈呈式後の総仕上げにより、見事、完成しました。

贈呈式では「喜んでいただければとても嬉しい。今後も依頼があれば新幹線やふくろうなど懲りずに作っていきたい。」「地域と学校のつながりを深めていくことが大事。」と話していただきました。



## 第44回 熊本県中学新人サッカー大会 矢部中 第3位

1月30日～2月6日にかけて、宇城市小川町観音山グラウンドなどで第44回熊本県中学新人サッカー大会が行われました。17年ぶりに郡予選を勝ち抜いて出場した矢部中サッカー部。矢部高サッカー部や、地域のサッカー関係者の大声援を背に快進撃を続けた矢部中。1回戦八代の鏡中に1-0で勝利し、つづく準決勝で菊陽中に2-1で競り勝ち、ベスト4入りを決めました。そして、2月6日大会最終日に行われた準決勝では、鎮西中に2-3で惜敗をしましたが、堂々3位という結果を残しました。この結果により、3月26、27日に行われる第23回北九州カップ中学生選抜サッカー大会への出場を決め益々盛り上がる矢部中サッカー部。多くの皆様に応援していただいたことに感謝の気持ちも忘れずに、北九州選抜大会でも矢部中旋風をふかせてもらいたいです！



## 2月 浜美荘での出来事

2月15日、「筑前琵琶熊本旭会」の会長「小島旭賢さん(67歳)」が浜美荘を訪れ、琵琶の演奏を披露されました。「琵琶はあまり身近な楽器ではないが、高齢者の方なら喜んでくれるかもしれない。」と平成21年から高齢者福祉施設や病院などを訪れ、ボランティア演奏をされており、その回数はなんと2,000回を超えます。山都町へも浜美荘の他、特別養護老人ホームの「ほたる」「大矢荘」に訪問されています。また、来る4月23日(土) 清和文楽館で行われる、「そよ風コンサートin文楽の里」にも出演予定です。小島さんは、「琵琶の演奏を聞いた方の心が安らいでほしい。少しでも役に立てたらうれしい。」と話していました。

2月16日には、カラオケ千歌「和田会」のみなさんが浜美荘を訪問されました。和田会のみなさんは、美しい着物やドレス、ひょっとこなどの衣装に着替えられ、歌と踊りを披露。そのとても美しい歌声に入所者のみなさんも聞き入っていました。また、歌に合わせた踊りもとても楽しまれていました。

「おてもやん」から始まり、最後の「御一緒音頭」まで全部で14曲を披露され、会場は大いに盛り上がりました。



カラオケ千歌「和田会」のみなさん



小島旭賢さん

## 絵画寄贈に感謝状

1月27日、通潤山荘で緒方建二さん(山都町出身)から町へ絵画の寄贈に伴い、町より感謝状の贈呈式が行われました。寄贈された絵画は2014年の県美展で県美大賞を受賞した「霧立越往還(きつたちごしおうかん)」で、通潤山荘の事務室正面に飾られています。

感謝状を受けた緒方さんは、「生涯で初めて感謝状をいただきました。学生時代(矢部高校)までこちらで過ごしたこともあり、八朔祭も毎年のように来ています。町外に出て初めて、山都町の自然環境などの素晴らしさが分かると思います。」と喜ばれ、山都町の良さを話されていました。



## 上益城地域がん講演会 in やまと

2月13日、千寿苑で熊本県御船保健所と山都町の共催で上益城地域がん講演会inやまとが開催されました。「自分や周りの大切な人をまもるために、がんに関する正しい知識を学びませんか?」をテーマに行われた本講演会は、参加者への情報提供として、町の健康福祉課より上益城がん検診受診状況と町の取り組み、みふねがんサロンより一年間の取り組みやみふねがんサロンの定義について説明がありました。

基調講演では「女性のからだとココロの話をしませんか。」と題し、熊本県民テレビアナウンサーの村上美香さんが講演をされました。講演では自身が経験した時の気持ちや具体的な診察などの体験談に、番組を通じてがんを経験された方の「私と同じ思いをしないで。」という声をたくさんの方々に届けていきたいと参加者へ熱く話をされました。



## 陣矢弓道「建国記念大会」

2月11日、中央体育館裏の陣矢弓道場で建国記念大会が行われました。毎月例会が行われており、建国記念日には道着で正装をして行われています。陣矢弓道は座って9m15cm離れた的を射る競技で、的の大きさは5寸と3寸あり、的を射れば得点が入ります。静けさが包む中で矢が真っ直ぐに的を射る光景は迫力があります。現在、陣矢弓道は約10人で毎月の例会や大会が行われています。飯星会長は「ぜひ、この競技をたくさんの人に知ってもらいたい。人数が減ってきたので、素直で明朗な80歳までの方なら大歓迎ですので、興味を持っていただき入会いただくと嬉しいです。」と話していただきました。



## 蘇陽小学童キッズクラブで 米粉を使ったおやつ作り

1月6日、蘇陽小学校放課後児童クラブと山都町食生活改善推進員さんと一緒に米粉を使ってホットケーキを作りました。子ども達も家で作るホットケーキより白い生地におどろき、悪戦苦闘しながらホットケーキをひっくり返していました。出来上がったホットケーキを食べながら

「中身はふわふわ外側は、ぱりぱりでもっちりしておいしい、家で作ってみよう」と感想がありました。

米粉のホットケーキをひっくり返している様子



## 第61回 愛林駅伝競走大会

2月13日、旧浜町会館前をスタートに第61回愛林駅伝競走大会が行われました。本大会は、町内外の中学生の親睦を図り、青少年に自然愛護の心を育て、緑豊かなふるさとづくりへの意識の高揚を図ることを目的として行われており、今年で61回を迎えました。今年も町内外から15チームが参加し行われ、益城Aチームが優勝しました。

スタートの合図と共に1区走者が一斉に走り出し、5区まで襷をつなぎます。コースは1・3・5区が3.3キロで男子が、2・4区は2.2キロで女子が浜町周辺を走り抜けました。雨が降ったりする中で行われましたが、選手の熱い走りや地域の方の声援により盛り上がりを見せました。

